

会 議 録

1 会議名

上越市露店市場運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 露店市場出店状況の報告について（公開）
- (2) 平成 29 年度朝市感謝祭について（公開）
- (3) 朝市の活性化に向けた取組について（公開）
- (4) 朝市開設区間における自転車走行問題について（公開）
- (5) 今後の朝市について（公開）
- (6) その他（公開）

3 開催日時

平成 29 年 10 月 12 日（木）午後 3 時 00 分から午後 4 時 10 分まで

4 開催場所

上越市役所 402、403 会議室

5 傍聴人の数

0 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：齊京貴子、中村栄（代理）、園田裕久（代理）、鳴海壽一、神谷淳一、
松倉康雄、船木彰、古川辰彌、内藤重穂、松嶋隆、幸村萬三、片岡明、
町田裕子、土田サヨ子、石田陽子、高野永子、恩田ワカヨ
- ・ 事務局：観光振興課 五十嵐課長、渡邊振興係長、市村主任

8 発言の内容

(1) 開会・挨拶（観光振興課五十嵐課長）

本日は御多用の中、上越市露店市場運営委員会へ御出席いただき誠にありがとうございます。

この露店市場運営委員会は、関係する皆様より様々な角度から御意見をいただき、露店市場の適正な管理運営を図ることを目的に設置されております。皆様御承知のとおり、上越市内の 4 つの朝市は、それぞれに日を違えて月に 21 日開かれております。

当市では、上越の大切な生活文化の一つである朝市を次の世代につないでいきたいと考えます。

本日の委員会では、朝市とまつり等における移動露店の適正な管理運営、そして、百年続く朝市文化を今後も維持し、さらなる賑わいを創出するため、皆様から忌憚のない御意見をいただくことをお願い申し上げ、御挨拶といたします。

(2) 委員長、副委員長の選出

委員長、副委員長の選出について、出席委員から事務局一任の発言があり、事務局から委員長に幸村萬三委員、副委員長に松嶋隆委員を諮問したところ、出席委員全員から承認された。

(3) 議事

※上越市露店市場運営委員会規則第4条第2項の規定により、幸村委員長が議事進行を行った。

配付した資料に基づき、事務局より説明後、質疑応答を行った。

① 露店市場出店状況の報告について

事務局が別紙資料1、資料2、資料3に基づき説明。

質疑なし

② 平成29年度朝市感謝祭について

事務局が別紙資料4に基づき説明。

質疑なし

③ 朝市の活性化に向けた取り組みについて

事務局が別紙資料5に基づき説明。

質疑なし

④ 朝市開設区間における自転車走行問題について

市村主任：昨年の露店市場運営委員会において同問題を取り上げさせていただき、昨年12月に二・七の市と四・九の市において、市、管理受託者、朝市組合の三者で、立哨による注意喚起やチラシを配布し、注意喚起を実施したところですが、実施が1回ということもあり、まだまだ徹底されていないのが現状です。市では、来場者が安心・安全に買い物をしていただくため、昨年に引き続き管理受託者、朝市組合の皆様と相談させていただきながら、注意喚起を実施したいと考え

ます。

鳴海委員：私も時間があれば道路に立って乗っている人に注意をしていますが、一度降りてもまた乗ってしまう人がいます。それほど強く注意しているわけではありませんが、朝市開催中は自転車を乗ってはいけないよと言うと、「そうだったね。」という人もいればあまり聞かない人もいます。また、注意看板も設置されていますが、それでも乗りながら通り過ぎる人がいるのが現状です。事故があった場合大変なことになりかねませんし、最近は地元小学生が授業で朝市を訪れることも多いので、対応を強化していく必要があると感じます。昨年実施した注意喚起とチラシ配布を定期的実施する必要があると考えます。

神谷委員：昨年実施した注意喚起の後も注視していますが、四・九の市の場合、雁木側に出店している人が少なく、来場者がそれなりにいても自転車を乗れるスペースがあるため乗ってしまうのだと思います。私も注意しようと思いますが、注意看板が主要なところに無いために「書いてあるでしょ」と言えないのが現状です。ただ、看板を立てたところで簡単に解決する問題ではないと思っています。出店数が少なく、空いているスペースが多いのが1つの要因だと思います。

松倉委員：大町5丁目は会場の長さが短く、道路幅も広いのであまり危険を感じていないのが正直なところです。また、注意喚起の看板がどこに設置されているのか、誰が設置しているのか分かりません。

五十嵐課長：注意喚起看板については、朝市組合さんから設置いただいております。来場者の安全を考えますと、朝市会場での自転車走行の禁止を徹底すべきですが、出店数や来場者の状況に応じては、柔軟に対応することも必要になる場合もあると思います。

幸村委員長：三・八の市については、2、3年前までは多少いましたが、現在はほとんど見かけませんので、安心しています。

五十嵐課長：自転車走行問題については、会場ごとに現状が異なるようですので、市、管理受託者となる地元町内会、朝市組合の3者で協議しながら適切に対応していきたいと思っています。

⑤ 今後の朝市について（意見交換）

市村主任：委員から事前に御意見をいただいておりますので、紹介させていただきます。「店舗を出している人達も買い物客と仲良く付き合っております。品質も良いと思います。農家の人達はだんだん出店する人が少なくなり、大通りにポツポツで淋しいくらいです。若いお客が少ない。皆勤めているため年寄りの人が多い。直江津は風が強いので店の人もお客も大変です。全体的に両者ともあたたかい付き合いをしています。」という現状に対する感想を踏まえた御意見を頂戴いたしました。

神谷委員：朝市感謝祭の件ですが、24日の四・九の市で大手町小学校さんなど今までになく新しい出店がありますが、チラシには詳細の場所が記載されていないので、来場者はどこに行っていけばいいかわからないと思います。四・九の市は駅前通りで会場が分かれてしまうので、毎回大町5丁目側で買い物をする方は知らずに帰ってしまう恐れがあります。可能であれば、何か周知する方法を考えていただきたいです。

五十嵐課長：市としては、来場者からできるだけ会場内を回遊してもらいたいと思っていますので、場所を詳細に記載しないのも1つの方法かと思いましたが、四・九の市については、道路で会場が分かれてしまうこともありますので、チラシの回覧が間に合うようであれば補足資料を作成させていただきます。

古川委員：同じく、朝市感謝祭の件ですが、各日共通で実施される朝市出店者各店舗による特売・サービスについては、価格表やパネルのようなものはあるのでしょうか。これまでは1か所で特売を行っていたので、問題ありませんでしたが、今回は各店舗ということなので、それぞれの店舗で特売、サービスの内容を示してもらわないとどの店舗が何を特売、サービスとして実施しているのか分らないと思います。例えば、今回のチラシの下部を空白にして、そこに特売、サービス内容を記載したものを各店舗に掲示してもらおうと来場者も分かりやすいと思います。

松嶋副委員長：古川委員御提案のとおり、特売、サービスを実施できる店舗については、今回のチラシを共用紙として、そこに何が特売、サービス

なのか記載し、店舗内に掲出したいと思います。

五十嵐課長：掲出いただく用紙については、事務局で用意し、後日、松嶋組合長にお届けさせていただきます。

齊京委員：市のガス水道局が、10月から朝市レストランを高田本町で実施しています。そこでは、朝市で購入した野菜などを使って料理していますが、そのこと自体知らない人が多いのではないかと思います。もう少しガス水道局と連携をとりながら実施やPRをされた方が良いと思いました。

市村主任：ガス水道局が実施している朝市レストランとの連携についてですが、資料に記載してはおりませんが、実際には連携を図っております。具体的には、去る10月2日に高士小学校さんが育てたぶどうを朝市レストランで調理すると同時に、朝市での販売を実施しました。次回の10月24日に開催される朝市レストランにおいても同様に、三郷小学校さんが育てたお米を調理、販売します。また、小学校が関わらない朝市レストランにおいても朝市で買った野菜などを使用していることを参加者に周知しておりますし、朝市レストランのPRを朝市会場で、朝市のPRを朝市レストランでというように双方でPRを行っているところでございます。

五十嵐課長：朝市全体の話になりますが、日本の三大朝市と言われている高山の朝市においても高齢化、後継者不足の影響で、300ほどあった店舗が今は50~70店舗と約2割に減少しているとのこと。出店者の減少は上越市に限ったことではなく、日本全体の少子高齢化、人口減少が、朝市においても形として表れてきているものだと思います。また、10月9日の日刊工業新聞に掲載されていた内容ですが、北海道の長沼町で開催している朝市では、朝市会場に面している住民も朝市に出店して朝市を盛り上げているという記事を目にしました。上越市においても道路を会場にしており、そこに面している住民の方がおられますので、ぜひ、そういった視点でもお声掛けしていただければと思います。

松倉委員：大町5丁目ですが、町内でも温度差はありますが、家の前に出店があるようなお宅からは、開催日には朝早くに自分の車を他に移動し

なければいけないから大変という声を聞きます。昔と違い、今は出店者も減り、ポツンポツンと店と店の間が空いている現状ですので、うまく詰めることはできないのか、出店されている方も含めて検討いただけないでしょうか。

五十嵐課長：現在空いている場所については、不定期に出店される農家の方の場所であったり、過去に出店されていた方がやめられて、今後新たに出店者があった場合に出店いただく場所であったりと事情があるものと承知しておりますが、松倉委員がおっしゃるように店が飛び飛びですと利用者にとっても不便かと思いますので、朝市組合さんともお話しさせていただきながら、詰めても支障がない所は詰めていきたいと思いますが、市としては空いている所がないように出来る限り出店者を増やしていきたいと考えています。いずれにいたしましてもより良い朝市となるよう相談させていただければと思います。

⑥ その他

渡邊係長：事務局では、今後も朝市を維持していくため、新規出店の声掛け等行っていますが、委員の皆さまにおかれましても「朝市に出てみたい」という方がお近くにおられましたら、事務局に御連絡いただければと思います。また、来週末から始まる「朝市感謝祭」を委員の皆さまからもPRしていただくとともに、ぜひ、会場にお越しいただければと思います。

(4) 閉会（観光振興課渡邊係長）

本日は、露店市場について、貴重な御意見をいただき誠にありがとうございます。いただいた御意見を基に、今後の具体的な方策を検討してまいります。この場に限らず、お気づきの点があれば、随時事務局まで御連絡いただけると幸いです。それでは、これにて平成29年度上越市露店市場運営委員会を終了させていただきます。委員の皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

9 問合せ先

産業観光部観光振興課振興係

TEL：025-526-5111（内線1246）

FAX：025-526-6113

E-mail：kanko-shinko@city.joetsu.lg.jp